

セーフコミュニティ年間活動報告書

本レポートは、毎年、認証された「月」の末日までに提出してください。

コミュニティ名	横浜市栄区
認証年月日	2013年 10月 5日
報告提出日	2020年 3月31日

〔報告書担当者〕 ※本報告書に関する問い合わせ等に対応できる方

よみがな 名前	ながまつ ひろし 永松 弘至
所属（肩書き）	横浜市栄区役所総務部区政推進課長
電話番号	045-894-8161
E-mailアドレス	sa-kikaku@city.yokohama.jp

指標 1 分野横断的な協働の仕組み

1-1. 過去1年に、セーフコミュニティ推進協議会等のSCの方向性を決定する組織および対策委員会等の重点課題に対する取組を推進する組織において大きな変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」と答えた場合は、変更点について詳細を記載してください。

例) これまで主な協働関係にあった方（組織）で担当でなくなった方や関係を解消した組織、あるいは新たに推進組織に加わった方（組織）など

--

1-2. 推進組織メンバーリストを添付してください・・・・・・・・・・ [添付1]

リストには下記の項目を設定してください。

氏名	所属	肩書き	備考
			推進協議会長

1-3. 推進組織（SC推進協議会）は、この1年間で何回開催しましたか？

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

会議名	開催日	主な議題	備考
栄区セーフ コミュニティ 推進協議 会	2018年 4月27日	1 セーフコミュニティ現地審査について 2 セーフコミュニティ事前指導（2017年度実施）について 3 セーフコミュニティ事業プロモーション活動について 4 2018年度の栄区セーフコミュニティ活動について	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付2〕

1-4. 対策委員会委員のリストを添付してください。・・・・・・〔添付3〕

リストには下記の項目を設定してください。

対策委員会名	氏名	所属	備考
			会長
			副会長

※ 対象者やプログラムの数に応じて、上記の表をコピーして活用してください

1-5. 過去1年間で何回対策委員会を開催しましたか？会議名・開催日・議題について示してください。

①会議名・開催日・議題について下記に示してください

対策委員会名	開催日	主な議題	備考
こども安全対策	2018年5月31日 2019年2月21日	現地審査プレゼン資料及びスケジュールの確認 他 KYTセミナーの報告、今後の取組について 他	
スポーツ安全対策	2018年5月22日 2019年3月5日	現地審査について、平成30年度分科会企画講習会について 他 2019年度の取組について、スポーツ活動時に発生した事故・けがに関するアンケートについて、平成31年度分科会企画講習会について 他	
交通安全対策	2018年4月19日 2018年9月5日 2018年11月16日 2019年2月1日	2017年度スクールゾーン対応状況の確認 他 事前指導資料の確認・当日の流れ 他 事前指導の講評要旨確認 他 2019年栄区内交通事故件数等確認 他	
児童虐待予防対策	2018年4月24日 2018年7月25日 2018年9月11日 2018年11月20日 2019年1月30日 2019年3月19日	2018年度活動計画 他 赤ちゃんふれあい体験活動計画検討、地域向け啓発活動検討 他 赤ちゃんふれあい体験実施結果共有、区民祭での周知方法検討 他 区民祭活動振り返り、いのちの授業活動計画検討 他 中学校での赤ちゃんふれあい体験実施方法の検討 他 2019年度の活動振り返り、いのちの授業について振り返り 他	

高齢者安全対策	2018年5月10日 2018年9月13日 2019年2月21日	今年度の取組方針について、転倒予防アンケート集計結果報告 他 転倒予防講習会報告、転倒予防啓発新規チラシについて 他 今年度の活動振り返り及び来年度に向けた課題について 他	
災害安全対策	2018年5月30日 2018年10月31日	地域防災拠点訓練実施状況について 他 セーフコミュニティ現地審査を受けて、今後の取組みについて 他	
自殺予防対策	2018年9月6日 2019年3月11日	自殺予防対策の取組について、自殺ハイリスク者支援対策検討部会より 他 横浜市自殺対策計画（仮）について、地域自殺実態プロファイルについて 他	
防犯対策	2018年5月28日 2018年10月16日 2019年2月13日	現地審査について 他 被害者向けの振り込め詐欺に関するアンケート内容の審議 他 振り込め詐欺に関するアンケートの実施について 他	
傷害サーベイランス	2018年4月5日 2019年3月4日	現地審査について 他 栄区セーフコミュニティアンケートについて 他	

②各会議の「次第」「出席者リスト」「議事録」を添付してください・・・・・・〔添付4〕

1-6. 過去1年間の財政マネジメントにおいて変化がありましたか？（資金調達方法など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

1-7. 次の1年間の財政計画について述べてください。

・セーフコミュニティ事業 4,330千円（2019年度予算額）
SCの取組の推進：2,030千円、プロモーション：1,000千円 フォーラム：1,300千円

1-8. 過去1年間で（対策委員会等の事務局ではなく、SC活動全体を担う）事務局機能において変更がありましたか？（事務局スタッフの変更や規模の変更など）

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

指標2 プログラムの包括性・持続性

2-1. 過去1年間で、全ての住民（全年齢・両性別）あらゆる環境や状況をカバーするための取組において変更がありましたか？（報告書に記載した取組において変更や追加等がありましたか）

はい いいえ

※「はい」と答えた場合、それは下記のマトリックスのどの領域ですか？

		子ども (0～14歳)	青年 (15～24歳)	成人 (25～64歳)	高齢者 (65歳～)
不慮の要因	家庭の安全	例) ①〇〇プログラム			
	学校の安全				
	職場の安全				
	余暇・スポーツの安全				
	公共の安全 交通安全				
	自然災害				
意図的要因	暴力 (DV, 虐待含)				
	自傷・自死				

変更した内容について説明してください。

2-2. 過去1年間で重点的な領域・課題（項目）・対策委員会等において変更がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、詳細について記載してください。

例) 重点項目、政策、政治、個人、資金などにおける変化及びそれによってどのように協働や継続性、成果などに成果があったのか、など

2-3. その他、コミュニティの特性を生かした取組について、その進展について記載してください。

例) モデル地区の取組など

--

指標3 ハイリスクグループおよび環境に対する取組

3-1. 過去1年間で、ハイリスクの集団・環境・状況に変更等がありましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、具体的にその詳細を記載してください。

3-2. 過去1年間において、各ハイリスクグループや環境に対してどのような取組を展開しましたか？

その内容と取り組みの成果について記載してください。

※ 対象者やプログラムの数に応じて、下記の表をコピーして活用してください

ハイリスク対象	取組内容	成果
	<div style="border: 1px solid black; background-color: #d9e1f2; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>別紙 指標3・4のとおり</p> </div>	

《児童虐待予防対策分科会》

児童虐待防止連絡会で児童虐待の現状について共有することで、区の課題について共有認識を持ち、関係機関の連携強化と支援の充実につながっている。

地区別虐待防止連絡会を全地区で開催することで、地区単位で児童虐待予防や子育て支援について考えるきっかけとなっている。

《高齢者安全対策分科会》

中期的指標である「転倒予防体操講座等の参加者数」が前年度に比べて大幅に増加した。

啓発先の新規開拓とともに、既存の介護予防活動グループへの働きかけを強化した結果、一部のグループで定例の活動の中に取り入れてもらうことができたことが理由として挙げられる。

《災害安全対策分科会》

地域防災拠点の場所を知っている区民の割合は、防災マップや啓発物品配布などの啓発の結果、年々上昇している。

《自殺予防対策分科会》

栄区内の警察、消防、医療、福祉機関などで構成されるハイリスク者支援検討部会での検討の結果、自殺リスク者向けの支援ツールとして、カード、リーフレット、パンフレットを作成し、区内関係機関への配布協力を依頼した。引き続き、区内の医療、福祉、行政機関で協働して支援していく方向性を確認できた。

《防犯対策分科会》

高齢者を対象にアンケートを実施し、振り込め詐欺に関する貴重なデータを入手することができた。

また、今年は区内全地区で実施している振り込め詐欺防止の出前講座を昨年より多く実施した。

指標5 外傷サーベイランス

5-1. 報告書で示した計画通りに外傷データの分析を行いましたか？

はい いいえ

※「はい」の場合、そのデータの入手先、分析の方法・内容、分析結果の活用方法を記載してください。

- ・救急搬送データ（横浜市消防局）
【子ども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会、高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・交通事故統計データ（栄警察署）
【交通安全対策分科会】
 - ・人口動態調査（厚生労働省）
【高齢者安全対策分科会、自殺予防対策分科会】
 - ・災害共済給付オンライン請求システムの学校安全情報（独立行政法人日本スポーツ振興センター）
【子ども安全対策分科会、交通安全対策分科会】
 - ・児童虐待対応件数（横浜市子ども青少年局）
【児童虐待予防対策分科会】
 - ・介護保険認定データ（横浜市健康福祉局）
【高齢者安全対策分科会】
 - ・セーフコミュニティアンケート（栄区）
【全ての分科会】
 - ・学校アンケート（栄区）
【子ども安全対策分科会、スポーツ安全対策分科会、交通安全対策分科会】
- それぞれ、各分科会の事務局分析、傷害サーベイランス分科会での分析に活用した。

5-2. 来年に向けて、外傷データの分析における課題や改善点すべきはありますか？

はい いいえ

※「はい」の場合、その詳細について具体的に記載してください。

今後の課題

- ・分析に必要な外傷データについて、横浜市全体については把握できているものでも、栄区独自では把握できていないものがある。調査方法や規模を含め、継続的なデータ収集方法について改善する必要がある。
- ・一部の分科会では、死亡だけではなく中等症のけがまで集計し分析すると、より効果的な取組の検討に繋げることができる。
- ・ヒヤリハットなど救急搬送データ等からは把握が難しい外傷について、データを収集する仕組みを検討する。

指標7 SCネットワーク（経験や知識の共有）

7-1. 過去1年間、次のネットワーク等に参加・貢献しましたか？

- a) 国際的なSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- b) 国内のSCネットワークへの参加・貢献 → はい いいえ
- c) アジア地域のSCに関する行事等・貢献 → はい いいえ

※「はい」と答えた場合、その内容について概要を記載してください。

b) 国内ネットワーク（視察受入等も含む）

2018年6月15日～6月17日 栄区現地審査 8都市視察受入

8月23日、24日 JISC定例会 参加

10月6日 栄区再認証式典 11都市視察受入

11月12～15日 全都市アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会

12月8日 久留米市再認証式典 参加

12月9日 JISC定例会 参加

c) アジア地域のSC

2018年11月12日～14日 第9回アジア地域セーフコミュニティ会議厚木大会

ポスターセッション参加、視察

7-2. 過去1年間、住民に対して行ったフィードバックについて記載してください

例) 取組の進捗状況、成果等に関する報告など

《再認証取得に関連した取組》

- ・再認証式典の開催に合わせ、広報よこはま栄区版9月号で特集記事を掲載し、分科会の取組や、現地審査の様子を紹介した。
- ・認証を取得した10月を「セーフコミュニティ推進月間」と定めており、図書館でのセーフコミュニティパネル展等を実施した。
- ・毎月の広報「よこはま」へのコラム掲載、タウン紙（全戸配布）への記事掲載
- ・ケーブルテレビでの映像を通じた情報発信（「栄区なうTV」）

《研修・説明等の取組》

- ・地域の連合町内会長が集まる区連会等の会議や、新任自治会町内会研修などの各種研修において、セーフコミュニティの活動について説明・情報提供
- ・区主催の官公署や企業が集まる会議で、セーフコミュニティの活動について情報提供

《区民利用施設と連携した取組》

- ・住民にとってより身近な施設において、自主的なPRの取組がなされ、区内全域への周知へつながった。

《その他各種刊行物やチラシ等への取組掲載》

- ・SAKAE早わかりノート（統計資料）
- ・区民生活マップ
- ・選挙啓発チラシ

8. その他

8-1. この1年間でもっとも積極的に取組んだ活動は何ですか。取組みの経緯・経過を含めて説明してください。

《再認証取得のための現地審査及び再認証式典の実施》

6月に認証センターの審査員2名を招聘し、現地審査を実施した。現地審査ではプレゼンテーションや活動現場の視察を通して、栄区での5年間の取組成果を審査員にアピールした。審査員からは7つの指標を満たしている点や、行政、地域住民それぞれが双方向で取組を進めることができている点等が評価された。

10月に開催した再認証式典では、区全体で再認証の取得を祝うものとなるよう、広く住民に参加を呼びかけ、300人が参加した。式典では合意文書への署名や、セーフコミュニティをテーマとした絵画コンクールの表彰式、分科会委員への感謝状贈呈などを行った。

《プロモーション活動》

再認証を機にセーフコミュニティの認知度を高め、参加の輪をさらに広げるために、あらゆる場面でプロモーション活動を行った。特に、アンケートの結果、認知度が低かった20～40代と居住歴が浅い住民に対するPRとして、栄共済病院（小児科、婦人科）や区内小児科医院の窓口での啓発品配布や、区内に新たに転入してきた住民にリーフレットを配布した。

8-2. 最後に、SC活動およびSCネットワークについて自由にお書きください。

セーフコミュニティの仕組みを取り入れることにより、栄区で行われている自治会・町内会を中心とした活発な地域活動を、関係機関や行政と一体感を持って進めることができている。また、今年度は再認証取得が分科会委員の自信となり、活動に対する一層の意欲向上へつながった。

添付資料

次の資料が添付されていることを確認したうえで提出してください。

※ 添付したものは「□」を塗りつぶしてください。

■添付1：推進協議会メンバーのリスト

■添付2：推進協議会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

■添付3：対策委員会メンバーのリスト

■添付4：各対策委員会の「次第」「出席者リスト」「議事録」

□添付5：アセスメントに関する資料

■添付6：市民へのフィードバックに関する資料

■資料（別紙）：指標3・4 対策委員会の取組について等

■資料（別紙）：指標6 対策委員会による取組のアセスメントについて

本レポートは、「ワードファイル」で、認証月の末日までに 支援センターに提出してください。
添付書類については、どの項目に対する添付資料かわかるようにしてご提出ください。